

保護者様

千葉市立千城台みらい小学校

## 令和7年度 学校評価に係るアンケート等の結果のご報告

児童、保護者、教職員を対象に昨年10月に行った学校評価に係るアンケート等の結果がまとまりましたので、下記のとおりご報告します。

結果や、いただいたご意見を教職員一同で受け止め、今後の教育活動に生かしていきます。

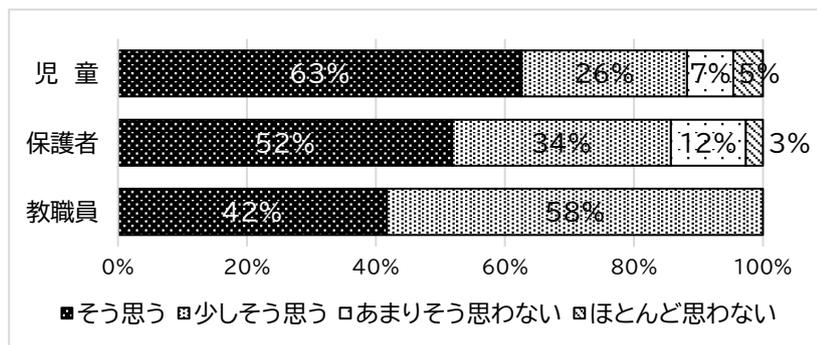
## 記

## 回答の平均値

[4: そう思う 3: 少しそう思う 2: あまりそう思わない 1: ほとんど思わない] として算出

児童 回答数:195		保護者 回答数:112		教職員 回答数:28	
①学校は楽しいですか。	3.5	①お子さんは、楽しく学校に通っている。	3.3	①子供たちは、楽しく学校に通っている。	3.4
②進んであいさつをしていますか。	3.2	②お子さんは、進んであいさつをしている。	3.0	②子供たちは、進んであいさつをしている。	2.4
③進んで読書をしていますか。	2.9	③お子さんは、進んで読書をしている。	2.7	③子供たちは、進んで読書をしている。	2.6
④学習中、自分の力で考えたり、問題を解いたりしていますか。	3.3	④お子さんは、進んで学習に取り組んでいる。	2.6	④子供たちは、進んで学習に取り組んでいる。	2.6
⑤学校での学習は、わかりますか。	3.3	⑤お子さんは、学校での学習内容を理解している。	2.8	⑤子供たちは、学校での学習内容を理解している。	2.3
⑥進んで運動をしていますか。	3.4	⑥お子さんは、進んで運動に取り組んでいる。	3.2	⑥子供たちは、進んで運動に取り組んでいる。	3.0
⑦学校のきまりを守っていますか。	3.5	⑦お子さんは、学校のきまりを守っている。	3.4	⑦子供たちは、学校のきまりを守っている。	2.8
⑧友達と仲よく過ごしていますか。	3.6	⑧お子さんは、友達と仲よく過ごしている。	3.3	⑧子供たちの友達どうしの人間関係は概ね良好である。	2.8
⑨千城台みらい小の先生たちはあなたが困っているときに、解決しようとしてくれますか。	3.5	⑨学校は、いじめを早期発見し、早期解決しようと努力している。	3.0	⑨私は、いじめを早期発見し、早期解決しようと努めている。	3.6
⑩先生は、がんばったことを認めてくれますか。	3.6			⑩私は、子供たちの長所を見付け、頑張ったことを認めている。	3.3
		⑩お子さんは、学校の様子を家庭でよく話す。	3.1		
		⑪学校は、便りやホームページで学校の様子を詳しく伝えている。	3.2	⑭私は、保護者との連携に努めている。	3.3
		⑫学校は、子供の健康や安全に配慮している。	3.4	⑬私は、子供の健康や安全に配慮している。	3.6
				⑪私は、わかりやすい授業のための工夫・改善に努めている。	3.2
				⑫私は、子供への個に応じた支援・指導に努めている。	3.3

## 楽しく学校に通っている。

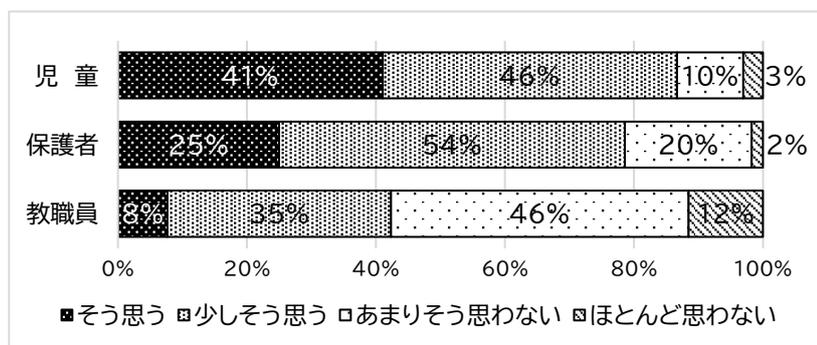


【設問】 児童：① 保護者：① 教職員：①

### 【考察】

児童は、おおむね楽しく学校に通えているといえます。5・6年は保護者の3割近くが消極的な回答をしていましたが、児童は1割ほどでした。楽しくないことがあっても、ご家庭で話を聞いてもらって気持ちを切り替えられているのだと思われます。児童の気持ちの理解に努め、「楽しくない」理由を解消できるように、支援を続けていきます。

## 進んであいさつをしている。

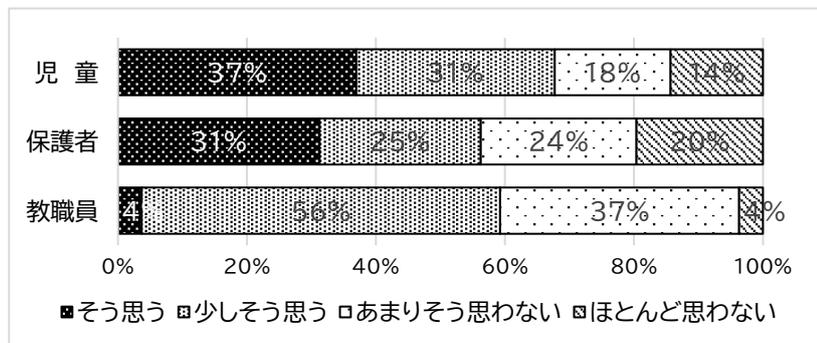


【設問】 児童：② 保護者：② 教職員：②

### 【考察】

1・2年は、児童と保護者の認識の違いが大きく表れました。児童の9割近くが「そう思う」「少しそう思う」と答えている一方で、保護者は6割ほどにとどまりました。「あいさつ」は本校が重点を置いて指導している事柄です。あいさつを通じて気持ちが相手に届いているかを振り返らせながら、引き続き指導していきます。

## 進んで読書をしている。

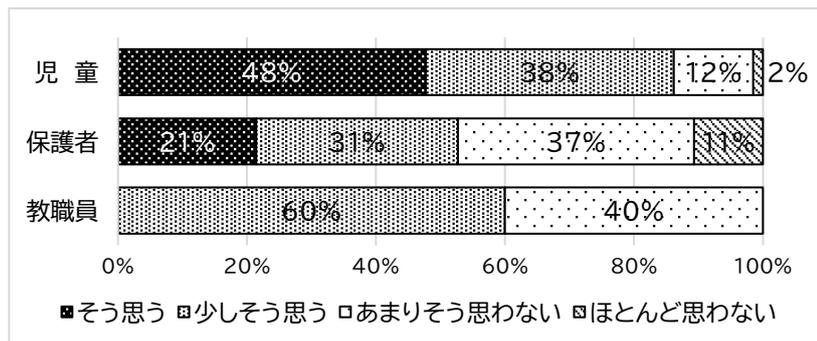


【設問】 児童：③ 保護者：③ 教職員：③

### 【考察】

「そう思う」「少しそう思う」児童の割合が、昨年度を13ポイント上回りました。読書週間には、目標冊数を設けたり本を借りると抽選に参加できるイベントを企画したりして読書への意欲付けを行いました。今後も、本を読んでもみようという気持ちが高まるような取り組みを続けていきます。

## 進んで学習に取り組んでいる。

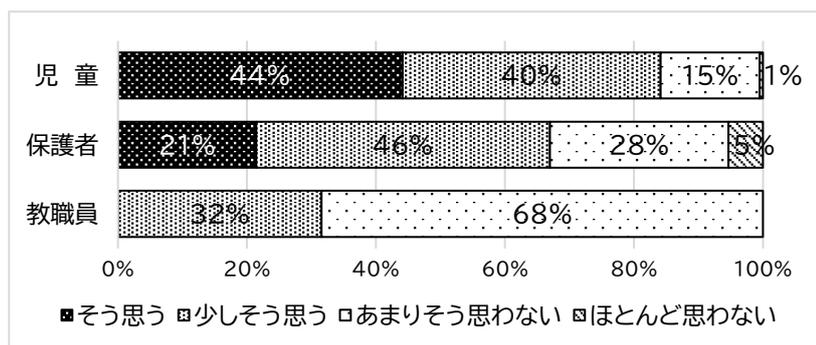


【設問】 児童：④ 保護者：④ 教職員：④

### 【考察】

児童と保護者・教職員で、設問が異なります。児童は授業中の様子を、保護者は家庭での姿を念頭に回答しているために認識の違いが大きくなったことが考えられます。学校では、習熟度に応じた支援により諦めずに問題解決に取り組もうとする意欲がもてるように指導を続けていきます。

## 学校での学習内容を理解している。

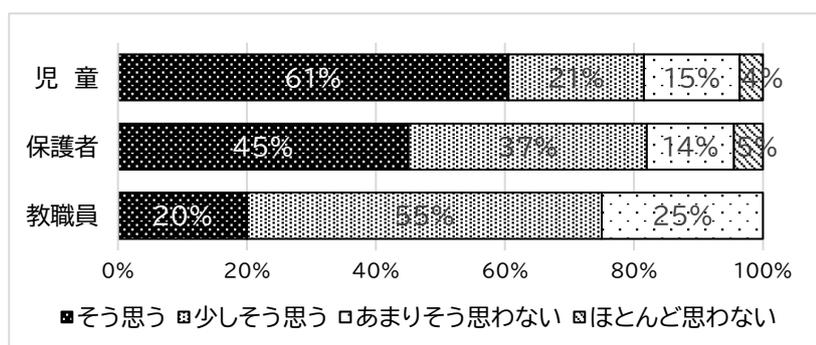


【設問】 児童：⑤ 保護者：⑤ 教職員：⑤

### 【考察】

児童は2年以上のいずれの学年でも「あまりそう思わない」が2割弱いました。授業では、ICTを活用したり体験的な活動を取り入れたりして学習内容の理解が深まるようにしています。算数の九九やかけ算・わり算の筆算に不安がある4～6年の児童を対象に朝の学習の時間に補習を行い、基礎的な学力の定着を図る取組も進めています。

## 進んで運動に取り組んでいる。

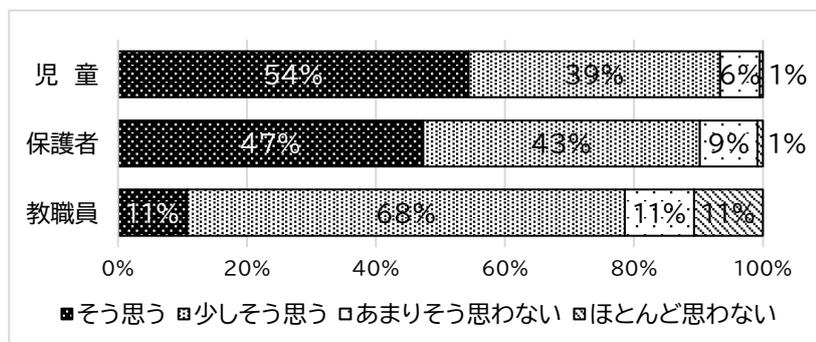


【設問】 児童：⑥ 保護者：⑥ 教職員：⑥

### 【考察】

「そう思う」「少しそう思う」児童の割合が、昨年度を4ポイント上回りました。6年児童は6割にとどまりましたが、陸上大会や球技大会に向けた特設クラブ活動には8割以上が参加しました。行事などをきっかけにして運動の楽しさを味わったり運動に親しんだりできるように工夫していきます。

## 学校のきまりを守っている。

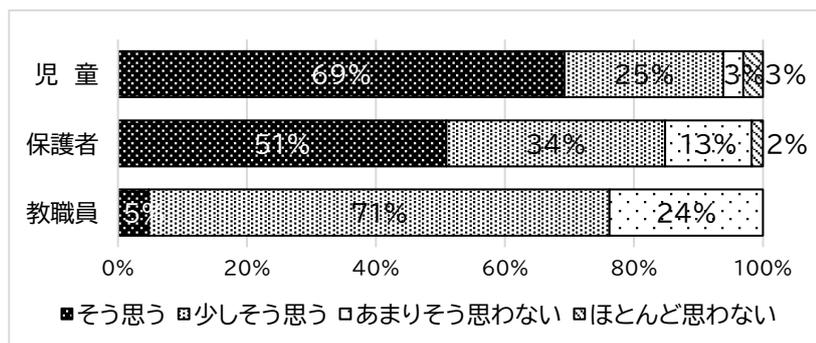


【設問】 児童：⑦ 保護者：⑦ 教職員：⑦

### 【考察】

児童は、おおむねきまりを守れていると感じています。一方、教職員の2割は課題意識をもっていることがうかがえます。なぜきまりを守る必要があるのかを考えさせながら、みんなが安全に安心して過ごせるような学級・学校をつくっていかうとする意識を高めていきます。

## 友達と仲よく過ごしている。

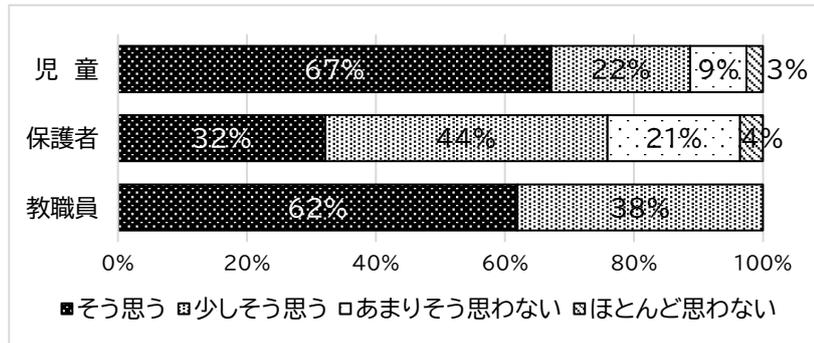


【設問】 児童：⑧ 保護者：⑧ 教職員：⑧

### 【考察】

児童は全学年で「そう思う」「少しそう思う」が9割を超えました。4～6年の保護者の2割は子供の友達関係を心配している様子ですが、児童はそれよりも楽観的に捉えているようです。学校では、児童の様子を観察や毎月行う「生活アンケート」を通して、子供同士の関わり方を注意深く見ていきます。

## 学校は、いじめを早期発見し、早期解決しようと努力している。

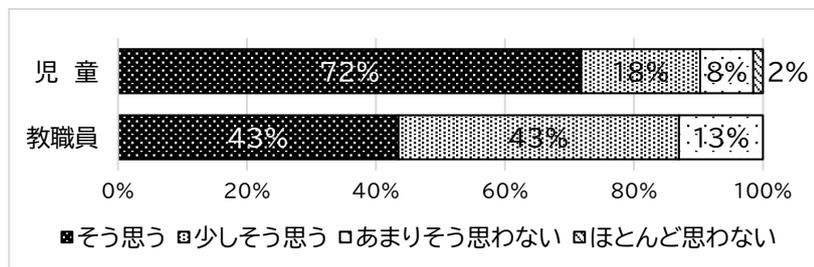


【設問】 児童：⑨ 保護者：⑨ 教職員：⑨

### 【考察】

児童と保護者・教職員で、設問が異なります。学校では毎月「生活アンケート」を実施して、直接伝えづらいことも相談しやすいようにしています。保護者の4分の1は対応のいっそうの充実を求めていると捉えられます。いじめの対応・対策には複数の職員で組織的にあたっています。今後も、児童の気持ちに寄り添うとともに粘り強く指導していきます。

## 先生は、頑張ったことを認めてくれる。

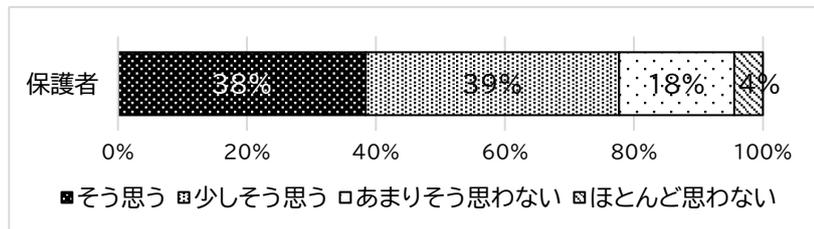


【設問】 児童：⑩ 教職員：⑩

### 【考察】

児童は多くの学年で「そう思う」「少しそう思う」が9割を超えました。結果だけではなく過程にも目を向け、小さな成長や努力も認めてほめることで、やればできるという思いや、やってみようという意欲をもてるように支援していきます。

## 学校の様子を家庭でよく話す。

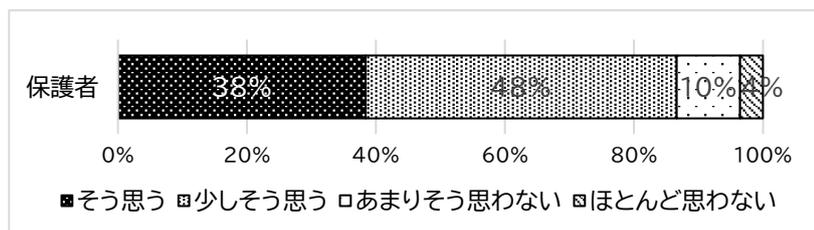


【設問】 保護者：⑩

### 【考察】

「そう思う」「少しそう思う」の割合が高かったのは2・3・5年で、8割を超えました。懇談会や個人面談などで、学校での様子を詳しくお伝えするようにしていきます。

## 学校は、便りやホームページで学校の様子を詳しく伝えている。

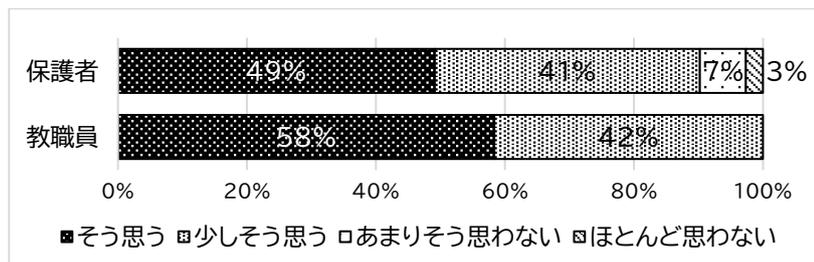


【設問】 保護者：⑪

### 【考察】

「学校だより」や「学年だより」を通して、お知らせや連絡だけではなく、児童の活動の様子や、教育活動のねらいなど学校の考えもお伝えできるように心がけていきます。

## 学校は、子供の健康や安全に配慮している。



【設問】 保護者：⑫ 教職員：⑬

### 【考察】

児童の安全・安心は、何よりも優先されるべきものと考えています。けがや事故の防止とともに、それらが起きた際にも迅速な対応で健康や安全が守れるように努めていきます。